

気候変動適応と災害リスク削減 に向けての開発計画

ベトナム: Mr. Vu Quang Cac

政府計画投資省計画管理課長

ベトナムの概要



- 南西アジアで最も急速に開発が進んでいる国
- 国土総面積: 331,698 km²
- 人口: 90.73 百万人 (WB:世界銀行, 2014)
- 2014年の都市人口: 全人口の33.6%が都市に住んでいる (WB)
- 下位中産階級国に認定されており、2011年の一人当たり国民所得はUS\$1,260ドル (WB)
- 63 の省と6つの中央直轄市で構成されている
- 6つの中央直轄市はGDPの60-70%を稼ぎ出し、社会・経済面でのエンジン役を担う
- 社会主義国でありながら市場経済に移行する過程で、急速な都市化、経済統合や持続可能な開発等、様々な都市問題に直面

ベトナムは気候変動と災害の影響を最も受けている5つの国の1つで、過去20年間に自然災害によってもたらされた被害額は**各年のGDPの1.5%に相当**すると考えられる

表 1.
ベトナムにおける自然災害の発生頻度

高い	中程度	低い
洪水	暴風雨	地震
嵐、熱帯低気圧	土砂崩れ	霜
干ばつ	森林火災	津波
鉄砲水	塩害	
侵食と土砂堆積		
竜巻		

Nguồn: Báo cáo của Ban chỉ đạo Phòng

農業と近郊開発省のCao Duc Phat氏によると、人口の73%が気候変動の影響を受けている最も脆弱な人々で、その多くが貧困層であると述べている。

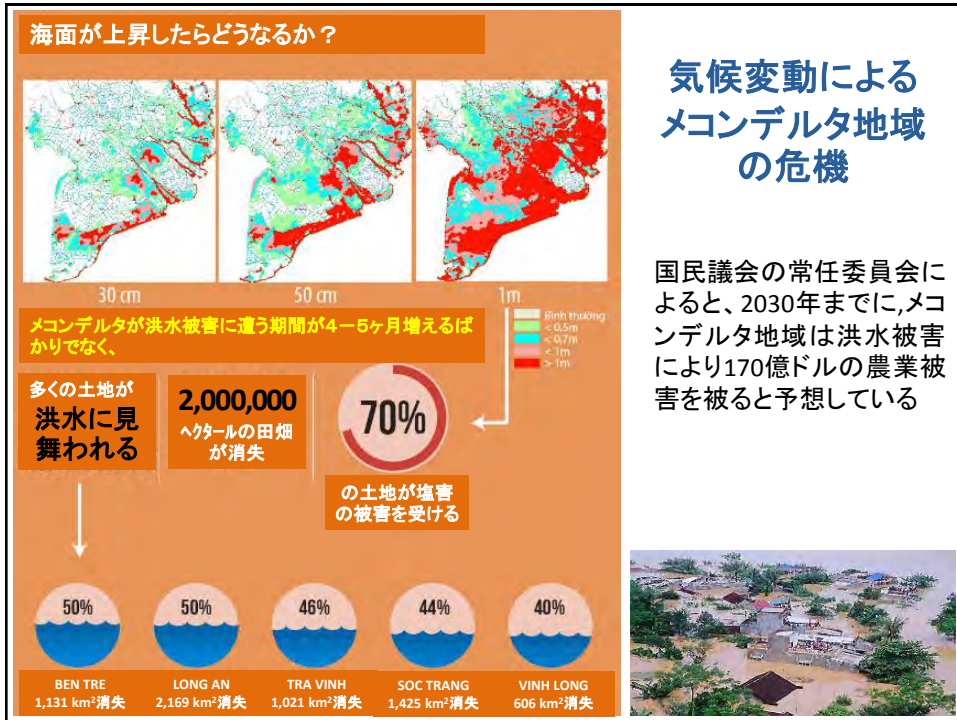
最も影響を受けている人々



ベトナムにおける気候変動の影響

- ・ ベトナムの年間気温は0.5度上昇
- ・ 海面は0.2m超上昇
- ・ 自然災害、嵐、洪水の頻度と激しさが増大
- ・ 自然生態系システムへの影響は大きく、特にメコンデルタの中部および中南部地域での影響が深刻
- ・ 潮位上昇は、カンホー、ホーチミン、カマウ、ヴィンロンで見られる
- ・ 紅河デルタ地域では歴史的な水位の低下による深刻な干ばつに見舞われている
- ・ 海水面が1メートル上昇したら、メコンデルタ地域の39%、紅河デルタ地域の10%超、海岸線の中央域の2.5%、ホーチミン市の20%以上が洪水の危険にさらされる





気候変動が都市問題を悪化させている



気候変動及び災害リスク削減戦略

- 気候変動と災害リスク削減は、貧困削減や社会経済5ヵ年開発計画、社会経済10ヵ年開発戦略など、他の国家開発戦略と併せて戦略が立案されている。
- 一方で、気候変動と災害リスク削減取り組みは、地域を越えた広い範囲で共に協力して計画策定を行うべき内容でもある。
- 気候変動と災害危機管理は短期間で実現できるものではなく、中長期的視点で戦略立案すべきものである。
- ここで特に強調されているのは:
 - 全てのレベルでの対応能力の向上
 - コミュニティの意識の向上
 - 災害危機削減を社会経済開発計画と統合して、地方レベルで推進すること

計画策定は重要且つ効果的な国家運営の方策

- 地域計画は 気候変動と災害リスク削減計画に関わる法的および政策的枠組みの中では触れられていない。
- 地域及び地域間の協力体制なしに、気候変動や災害リスク削減への革新的な対応は実現できない。
- 国レベルの管理体制間では、情報共有は限定的。
- 政策決定に必要な地域レベルでの災害実態データが不足している。
- 気候変動対応や災害リスク削減に関する事業や計画を行う能力が地方(行政)に備わっていない。



計画策定は、市場変化に対応しながら、国が持つ資源を効率良く且つ堅実に配分し、政府を効果的に運営する上で不可欠な手段であり続ける

地域や国家レベルの戦略課題を解決するために、あらゆるレベルにおける開発計画で相乗効果が求められている

開発計画には気候変動への適応や災害リスク削減の内容が統合されているべきである

開発計画を実行するには、政府中枢との連携確立や効果的な投資が必要である

天然資源の持続的な活用や保全、災害リスクの低減、気候変動への適応には、国家あるいは国際機関との関係強化が必要である

日本との協力の可能性

中央政府・地方政府レベルの開発計画において、災害対策と気候変動を融合させた経験の共有と技術支援を行う

THANK YOU

